

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日本共産党

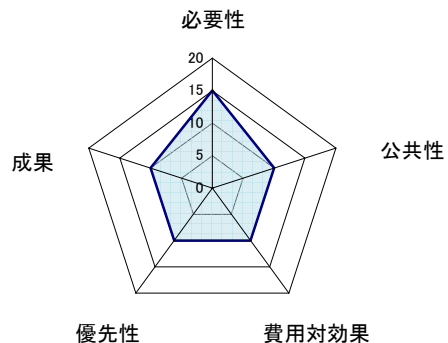
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
14	教育費	地域教育力支援事業	1253

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	地域の支援を受けて教育の力を高めることは必要。新たな人材の確保、取り組みの強化が必要。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 10	事業を推進するのは1名の嘱託職員だが、最終的には、市が責任を負うべきことである。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	1名の嘱託職員によるコーディネートだけでは不十分。いまのところ、市民活動情報センターにおけるボランティア登録者などの活用も検討すべき。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	大学生などによる休日のキャンプ指導、または、クラブ活動や放課後活動への指導者派遣などの取り組みは貴重である。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	取り組んだ学校では成果が上がっている。

2 全体評価（事前評価）

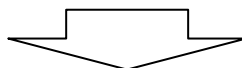
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 まだ限られた学校での取り組みに終わっている。今後、活動を広げるためにも、コーディネーター1名では限度がある。学生だけではなく、広く、地域の人材の掘り起こしと新たな地域活動のリーダーの養成が必要。まだ実績が浅いので、十分な評価ができない。



第1次評価レーダーチャート

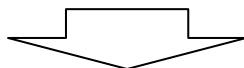
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	今後、子どもの育ちを地域でささえるためにも、必要。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



4 決算審査における確認事項 (300字以内)

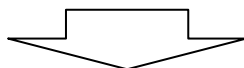
学生や地域の教育人材をコーディネートして部活動の指導者や野外活動のリーダー、お祭りの支援者まで多種多様な働き手をつくる事業である。2008年度から試験的に始めたばかりであり、その成果も十分検証されていない。2010年度には、この事業を「こどもプラン」の枠組みで整理することである。コーディネーター1名で足りるのか？ 疑問が明らかになった。



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)

学校の教職員が多忙すぎることも、この事業でカバーする理由のようであるが、時間的ゆとりのない学校の実態は教員の増などで対策をはかるべき。放課後をふくめ校外の活動を大学生など多様な人材を活用することはよいことだと思う。文科省もすすめる事業ならば、十分な財源をあててむりのないようにすすめるべき。



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

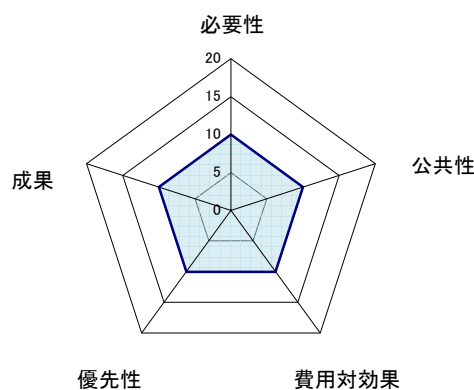
(1)項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	第1次評価では、(1)で「必要性が高い」としたが、今後、「こどもプラン」の諸事業とともに整理することなので、「どちらかといえば必要性がある」にした。

(2)評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

第1次評価では、(1)で「必要性が高い」としたが、今後、「こどもプラン」の諸事業とともに整理することなので、「どちらかといえば必要性がある」にした。まだ限られた学校での取り組みに終わっている。今後、活動を広げるためにも、コーディネーター1名では限度がある。学生だけではなく、広く、地域の人材の掘り起こしと新たな地域活動のリーダーの養成が必要。まだ実績が浅いので、十分な評価ができない。



第2次評価レーダーチャート

(3)今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	学校支援については、ニーズ調査をおこない、学校の要望とミス・マッチにならないよう、工夫しているが、今後も工夫・改善を求めたい。学生ボランティアについては、所属する大学に交通費程度の謝礼が出ていると聞けが、コーディネーター報酬と合わせ見直しも検討してはどうか？

※特記事項(200字以内)

事業をおこなうさいの安全面や保障の点など十分な対策を取るべき。

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 公明党

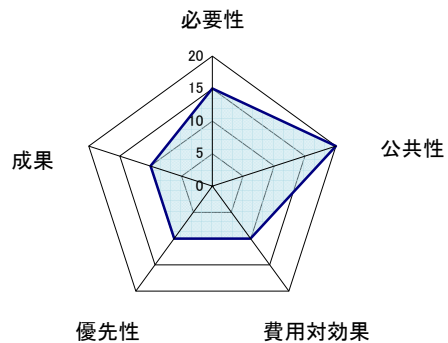
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
14	教育費	地域教育力支援事業	1253

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	子どもの健全な成長のために新規の取り組みは評価できる。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 20	教育委員会として責任を持って取り組むことが必要。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	新規では一人の嘱託職員の費用が主であるが、成果を上げるにはそれなりの予算が必要と思われる。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	初年度であり、今後に期待したい。

2 全体評価（事前評価）

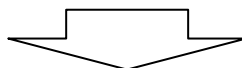
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
子どもの成長に地域や関係者がどのように関わっていくか、大変重要です。課題もあると思うが、改善すべきは改善し、継続を望む。



第1次評価レーダーチャート

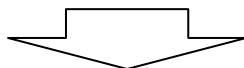
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
4	5 きわめて良好である 80点以上	65	初年度としてはよいスタートでしょう。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



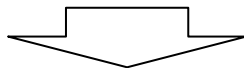
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

Blank yellow box for confirmation items.



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性 (200字以内)



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

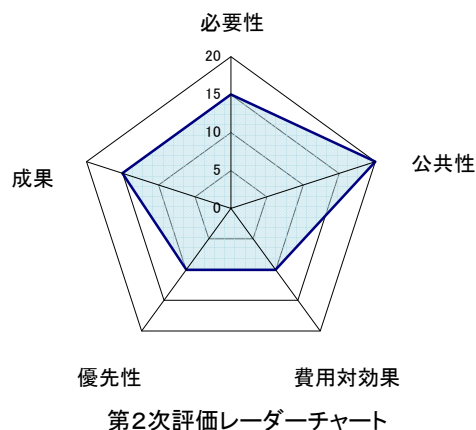
(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
4	70	15	20	10	10	15	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

一人のコーディネーターで各学校の要望に的確な対応がなされていた。



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
4	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	初年度としては、成果があがっている、周辺大学との連携を生かして新たな教育力の向上に努めていく必要がある。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 多摩市議会自由民主党

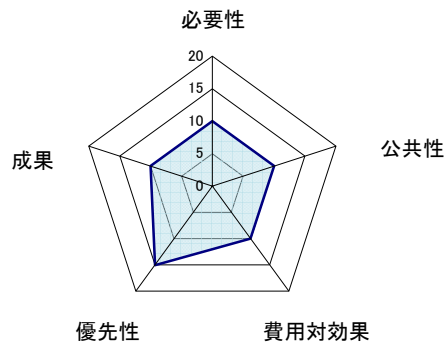
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
14	教育費	地域教育力支援事業	1253

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	コーディネーターの数が少ないのではないかな。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	10	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	15	核家族化、少子化の時代において、地域全体で子どもたちの育成を考え実践することは非常に重要な課題である。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	10	

2 全体評価（事前評価）

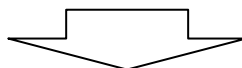
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
この事業に関しては、様子を見ながら徐々に広げるといった慎重さも結構だが、市内で一気に展開することによって、各地域での相乗効果が図られるケースがある。また、慎重すぎればマイナス点ばかり目につくこともある。もっと積極的な展開をのぞむ。



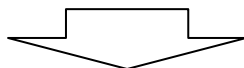
第1次評価レーダーチャート

3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		

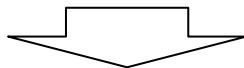


4 決算審査における確認事項 (300字以内)



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



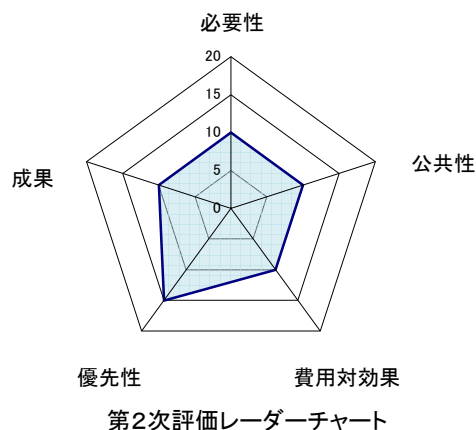
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
3	55	10	10	10	15	10	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	これからの事業であるが、地域力を生かせるといった観点で言えば非常に大切な事業といえる。もっと市民を巻き込む事業展開になるよう改善を望む。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 改革ゆいの会

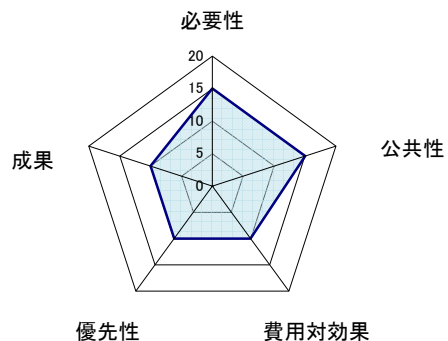
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
14	教育費	地域教育力支援事業	1253

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	学校の負担を軽くするために。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 15	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 10	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 10	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 10	

2 全体評価（事前評価）

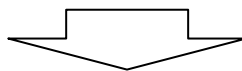
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
現在の方式では課題が多いのではないかな。



第1次評価レーダーチャート

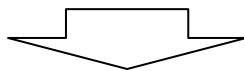
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由（150字以内）
4	5 きわめて良好である 80点以上	60	総合的に判断した。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



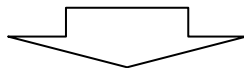
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Blank area for confirmation items]



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)
今後の国の動向にも注目したい。



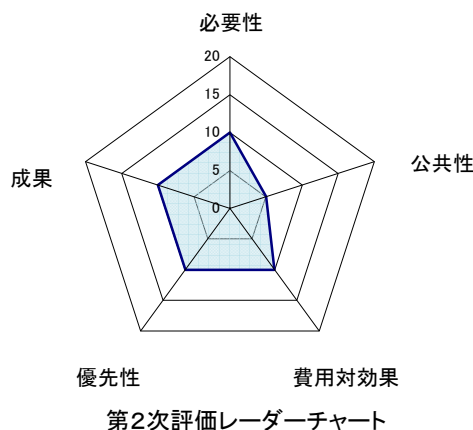
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	45	10	5	10	10	10	再度、総合的に判断した。

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)
直接の文科省支援事業ではない。多忙の学校支援こそ本来の目的であったはず。学校の負担が大きいは問題である。



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	手法の改善の余地あり。

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名：生活者ネット・無所属の会

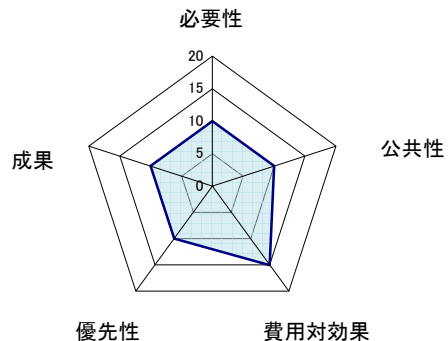
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
14	教育費	地域教育力支援事業	1253

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	各学校のニーズと地域の人材をコーディネートする作業は必要だが、多忙を極める今の学校にはできない。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	地域の人々と学校が日常的に顔の見える関係で、かつ対等な立場での意思疎通ができるまでは、市が行ってもいい。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ○ ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	15	嘱託職員一人の尋常でない頑張りによる。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	10	学校を支援するネットワークづくり、仕組みづくりは求められている。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	10	

2 全体評価（事前評価）

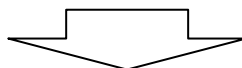
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
学校と地域をつなぐ役割は、今後さらに重要になる。費用対効果は大きいですが、あくまでも嘱託職員一人の尋常でない頑張りによるもの。



第1次評価レーダーチャート

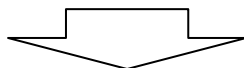
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	55	上記を総合して。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



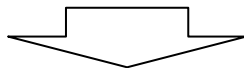
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

[Blank area for confirmation items]



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)
夫婦ともが非正規労働で子どもと向き合う時間が確保できない、あるいは一人親家庭の増加などにより子どもの成育を地域全体で支えることにより、学校教育が本来の役割に近づく。一人のコーディネーターの奔走だけでなく、学校と地域あるいは必要な人材をつなぐ仕組みの構築を目指すべき。また、連携している大学にとっても、子どもと直接接する体験の少ない学生の実習の機会にもなる。



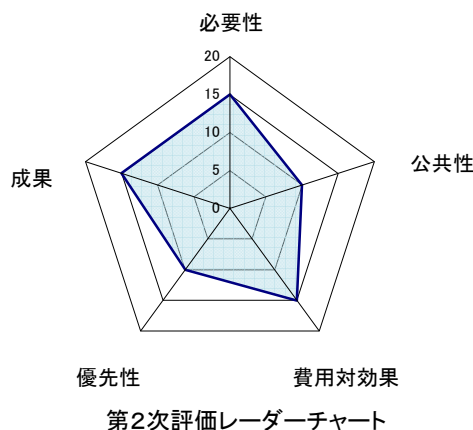
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
4	65	15	10	15	10	15	学校の需要と地域の供給の交通整理により、学校現場の負担軽減につながっている。

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)
[Blank area for evaluation comments]



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する	今後、コーディネーターの拡充もあるかもしれないが、その前にまず、関わった人々や学校現場とともに事業の検証をし、どこを着地点として目指すのか共有することが大切。そこから、子どもたちの成育や学校教育を市民全体で支えようという機運につながると考える。市民活動情報センターとの連携は、教委でなく、あちらが積極的に進めるべきこと。
	4 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	2 見直しのうえ縮小する	
	1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)
[Blank area for special notes]

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 民主党TAMA

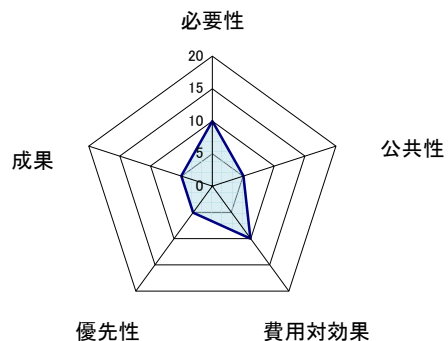
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
14	教育費	地域教育力支援事業	1253

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	地域教育力の支援の必要性、重要性に対する指摘は年々高まっている。しかし、そこに市民のニーズがどのくらいあるのかといえば、なかなか測定しがたいものがある。
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	5	必ずしも市が実施すべき主体になるべきだとは思わないが、関わることは必要であり、地域の各資源と緩やかにネットワークを組みながら進めていくべきことである。
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	10	成果をどのように測定するのは難しい。成果・効果の判断は事業目的・目標をいかに達成できたのかその説明を十分に尽くすことである。
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	5	比較対象する事業をどれにするかで優先性が判断できるが、新たな事業が単なる事務量の増加になっては本末転倒である。既存の事業との重複があるなら再検証し、効率的に実施できるように工夫すべき。
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ○ ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	5	成果をどう捉えるのか、その説明を十分聞かなければ判断しがたい。しかし表面的にみる限りでは、成果が上がっているように感じられない。

2 全体評価（事前評価）

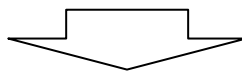
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
本事業の目的、目標とその達成度を測ることは難しいと言えるが、既存の事業との重複が認められないかどうか再検証してほしい。また事業実施方法の工夫についても改めて考え直すべきである。実態把握をするためにわざわざ本事業を立ち上げたというのは少し疑問である。



第1次評価レーダーチャート

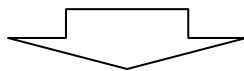
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
2	5 きわめて良好である 80点以上	35	既存事業との重複がないのか、また、実施の手法についても再検証が必要である。行政主導で実施しても広がりがないと考えているが、どうやら事業の進捗状況からは行政がミスリードしているとも受け止められる。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



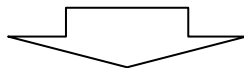
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

Blank yellow box for confirmation items.



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)
Blank yellow box for current social conditions.



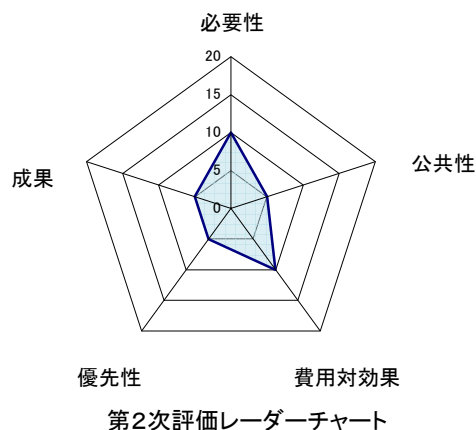
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
2	35	10	5	10	5	5	Blank yellow box for overall evaluation.

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)
Blank yellow box for evaluation comments.



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
2	5 拡充する 4 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 2 見直しのうえ縮小する 1 休止・廃止	事前評価どおり。

※特記事項(200字以内)
Blank yellow box for special notes.

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： あおぞら

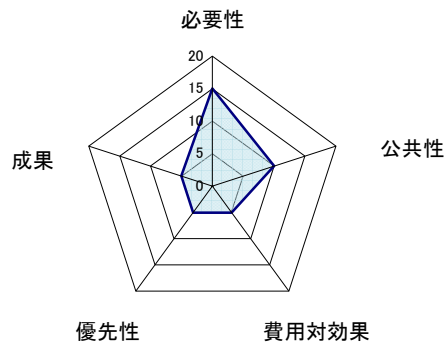
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
14	教育費	地域教育力支援事業	1253

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 (市民ニーズ)	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	○ 15	学校・地域・家庭の連携の必要性は高い。
(2)公共性 (市が行わなければならないか)	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	○ 10	地域協力を支援する必要があるが、その実施内容については、検討する必要がある。
(3)費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	○ 5	費用対効果を判断することは困難であり、効果を数字で表すことは難しい。
(4)優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	○ 5	その他の事業と連携して見直しが必要と思うので優先性は低い。
(5)成果 (目標の達成状況)	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ⑤成果はあがっていない(0点)	○ 5	明確な成果は、現れていない。

2 全体評価（事前評価）

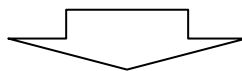
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)
 必要性和公共性については、ある一定程度評価するが、費用対効果、優先性、成果は課題が多く、その他の事業の関わり方として見直しが必要である。



第1次評価レーダーチャート

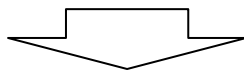
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	40	全体としての評価は、おおむね適正であるが、必要性の高いことを除いて、他の評価は問題がある。費用対効果、優先性、成果について、明確でなく今後、課題の整理が必要である。
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



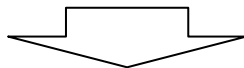
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

Blank area for confirmation items.



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性 (200字以内)



6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

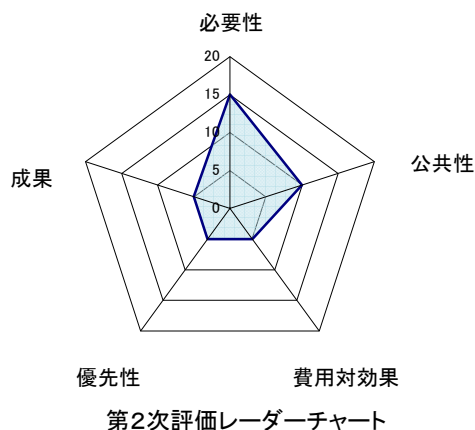
(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1) 必要性	(2) 公共性	(3) 費用対効果	(4) 優先性	(5) 成果	全体評価(100字以内)
3	40	15	10	5	5	5	

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)

この事業は、まだ、一部の学校で取組まれただけで、今後の展開には、地域の人材や関係者など、また他の事業との関係を再確認していく必要があると思います。



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する	
	4 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	2 見直しのうえ縮小する	
	1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)

平成21年決算特別委員会 事業評価シート

会派名： 日月会

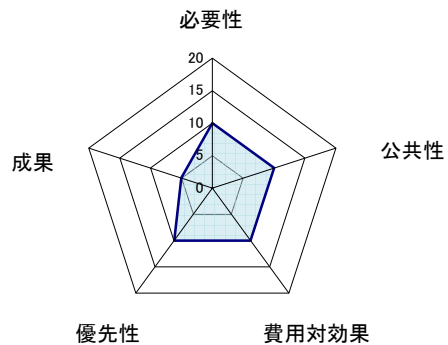
No.	予算科目	事業名	事業報告書詳細ページ
14	教育費	地域教育力支援事業	1253

1 項目別評価（事前評価）

評価項目	評価基準（該当右欄に○）	評価点	評価コメント（100字以内）
(1)必要性 （市民ニーズ）	①きわめて必要性が高い(20点) ②必要性が高い(15点) ③どちらかといえば必要性がある(10点) ○ ④必要性が低い(5点) ⑤必要性がない(0点)	10	
(2)公共性 （市が行わなければならないか）	①市が行わないといけない(20点) ②公共性が高い(15点) ③どちらかといえば市が実施(10点) ○ ④公共性が低い(5点) ⑤公共性がない(0点)	10	
(3)費用対効果 （コストに見合った成果があるか）	①きわめて効果的である(20点) ②効果的である(15点) ③どちらかといえば効果的(10点) ○ ④どちらかといえば非効果的(5点) ⑤非効果的である(0点)	10	
(4)優先性 （他事業に優先し実施する必要があるか）	①きわめて優先性が高い(20点) ②優先性が高い(15点) ③どちらかといえば優先性がある(10点) ○ ④優先性が低い(5点) ⑤優先性がない(0点)	10	
(5)成果 （目標の達成状況）	①きわめて成果があがっている(20点) ②成果があがっている(15点) ③どちらかといえばあがっている(10点) ④どちらかといえばあがっていない(5点) ○ ⑤成果はあがっていない(0点)	5	

2 全体評価（事前評価）

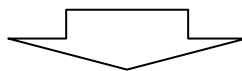
全体のバランス・事業の位置づけなど(200字以内)



第1次評価レーダーチャート

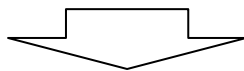
3 第1次評価（事前評価）

評価	評価基準	合計評価点	判定理由(150字以内)
3	5 きわめて良好である 80点以上	45	
	4 適正である 60～79点		
	3 おおむね適正である 40～59点		
	2 問題がある 20～39点		
	1 不適正である 19点以下		



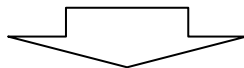
4 決算審査における確認事項 (300字以内)

Blank yellow box for confirmation items.



5 現在の社会状況等

市の財政状況・国及び都の動き・市民生活などをふまえた、改善・効率化・見直しの方向性(200字以内)



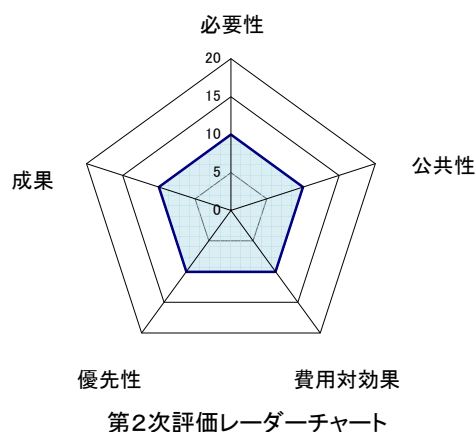
6 第2次評価 (修正・今後の方向性)

(1) 項目別評価及び全体評価 ※評価基準等は、第1次評価と同じ

評価	合計評価点	(1)必要性	(2)公共性	(3)費用対効果	(4)優先性	(5)成果	全体評価(100字以内)
3	50	10	10	10	10	10	地域教育力の支援として、学校・地域・家庭の充実を求めたい。実施内容について、ミスマッチも見受けられる。

(2) 評価コメント

評価の補足・修正理由など(300字以内)



(3) 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由(200字以内)
3	5 拡充する	学校と地域、小学生の自然体験や中学生の部活動の支援・充実など学生やボランティアの充実を図るべきである。
	4 現状のまま継続する	
	3 改善・効率化し継続	
	2 見直しのうえ縮小する	
	1 休止・廃止	

※特記事項(200字以内)